

クリニックレター 2020年9月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

患者様へのお願い

- #) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、発熱その他感冒様症状の患者様は、来院前に必ずお電話で症状をお伝えください。また、受付カウンターに顔認識体温測定器を設置しました。来院の患者様は、受付の際にご自身で体温チェックをしていただくよう、ご協力をお願いいたします。
- #) 待合スペースに自動血圧計を設置していますので、診察前にご自分で血圧測定をお願いいたします。看護師による問診時の血圧測定は、原則としておこないません。操作方法についてはご遠慮なくスタッフにお聞きください。

秋の夜長に

今年の猛暑もそろそろ終わり、9月は台風シーズン、そして、秋の気配がしてくる頃です。今年はコロナ渦で、春を楽しむ余裕もありませんでしたが、秋の楽しみは味わえるでしょうか？ 中秋の名月、すすき、お団子、サンマ、トリュフ、柿・栗ご飯・・・と、どうしても「秋の味覚」に思いが向いてしまいがちですが、「秋の夜長の読書」も楽しみの一つです。そこで、私が最近読んだ本で印象に残ったものをいくつかご紹介いたします。

- ① **PACHINCOパチンコ** 上・下 (ミン・ジン・リー著 文芸春秋社) 4世代にわたる在日コリアンの物語、圧倒的な構成力の長編。アメリカでのベストセラーですが、日本でも、もっともっと読まれるべき本、と思います。
- ② **あの本は読まれているか** (ラーラ・プレスコット著 東京創元社) “ドクトルジバコ”の作者であるボリス・パステルナークとその周囲の人々、そして当時のソ連に介入しようとするCIAの職員たちを描いた物語。読中に、あらためてドクトルジバコを映画で見ました。
- ③ **チョンキンマンションのボスは知っている-アングラ経済の人類学-** (小川さやか著 春秋社) 香港におけるタンザニア人のアングラビジネスから、今の中国、アフリカが見えてきます。目ウロコの一冊。
- ④ **ワイルドサイドをほつき歩けーハマータウンのおっさんたち-** (プレイディみかこ著 筑摩書房) 「僕はイエローでホワイトでちょっとブルー」に続く一冊。ブレグジットに揺れるイギリス社会を垣間見ることができました。
- ⑤ **熱源** (川越宗一著 文芸春秋社) 明治期から昭和にいたる、樺太アイヌの物語。ロシア・ポーランド・日本との関わりも勉強できる一冊。
- ⑥ **毎日が最後の晚餐** (玉村豊男著 Teijin) コロナで緊急事態宣言が出されていた頃に、この本を参考にして料理のレパートリーがいくつか増えました。(番外) **復刻版「鉄道時刻表」** 今回購入したのは、昭和23年から昭和30年までの6冊(交通公社版)と、昭和15年の「満州支那鉄道時刻表(附:台湾・朝鮮時刻表)」。これらを横において、内田百閒先生の「阿房列車」シリーズを読むのはテツ冥利につきるものがあります。また、昭和20年台に大阪の薬大に通っていた母や神戸女子薬科大に勤務していた父が、どのように地元の福井と関西を行き来していたのだろうか、などと思いを巡らしました。



①～④の本などを読んでみると、いかに、自分が接している日本の情報が「狭い窓」からみている、或いは、今や過去となった常識にとらわれたものか、がわかります。「日本すごい」や「嫌韓嫌中」の流れは日本人が世界に取り残されたガラパゴスになっている証拠とも思いますし、(私は見ませんが) TVのワイドショーや芸人さんたちがヒナ壇に並ぶ地上波の番組なども、また、NHKをはじめとするニュースの内容や構成なども、なんか世界から3周遅れのガラパゴス日本の象徴のような気がします。

そんななかで、今私がちょっと(ではなく、かなり)はまっているのは、「梨泰院(イウウ)クラス」という韓国ドラマ。全16話で10話まで見ました。この面白さは何なんだろう?と思うのですが、おそらくは、主人公のセリフが「次はこうくるだろう」という予想をことごとく超えていく作者(脚本家)のセンス、ダイバーシティ(多様性)と魅力ある登場人物、新感覚の映像、それに音楽、などがその理由ではないかと思います。映画作り、ということでは、今年「パラサイト-半地下の家族-」(まだ見ていない!)が米アカデミー賞作品賞、監督賞に輝きましたが、これに象徴される韓国の映像技術の進化が、見るものを引き付けて離さない要素の一つでは、と想像しているところです。今回は、漢方の話ではなく、本や映画の話で終わってしまいましたね。「暑気払いで9月も頑張ろう号」ということで、お許しください。

インフルエンザ予防接種について

マスクミ等で、インフルエンザワクチンについての話題があがっているようです。ワクチンの納入本数等に関しましては情報が入り次第、院内に掲示の予定ですが、いまのところ、例年通り9月中旬から予約開始、10月中旬からの接種開始の予定で、数量もほぼ前年通りの見通しです。

リニューアル完了のご報告

院内診療システム及び一部施設のリニューアル作業がようやく終了しました。主な変更点は以下の通りです。

- 1) 診療システムのペーパーレス化をより徹底しました。これまで紙ベースで保存していた心電図及び脈波計測、院内血球検査、ヘモグロビンA1c測定などを直接電子カルテに取り込むことが可能になりました。また、患者様がお持ちになった他院からの紹介状や検査結果などもすべて電子化して取り込んでいます。これにより、「紙を運ぶ」というスタッフの動きをなくして、より診療に集中することが可能になりました。
- 2) 1階2階のトイレをリニューアルしました。トイレの清潔を常に保つよう、スタッフも気配りしてまいりますので、是非ご協力をお願いいたします。また、2階診察室の換気のため、従来のガラス壁から、ジャロジー付きの壁に変更しました。

#) 休診及診療日変更のお知らせ

10月3日(土)田川医師・11月2日(月)院長診を休診とさせていただきます。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場でのアイドリングもおやめください。

クリニックレターのバックナンバーをお読みにになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。